

有宵会だより

第109号
 発行所
 特定非営利活動法人
 岳易館・有宵会
 編集 広報部
 松戸市新松戸1-64

九星と易断による 二月・三月の運勢

気学では寅の二黒
 二月四日（立春）節入
 ア破

天道

1	6	8
9	2	4
5	7	3

生氣

天道

9	5	7
8	1	3
4	6	2

生氣

気学では卯の二白
 三月五日（啓蟄）節入

天道
破



新年のご挨拶

令和四年の新春を迎えまして、慎んでご祝詞を申し上げます。
 NPO法人岳易館・有宵会会員の方々、各教室
 同人の皆様には本年のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。
 相変わらず新型コロナウイルスの影響が三年越しになり、最近はおミクロン株の猛威で感染者の歯止めが利きません。罹病の方々の安心と安全のご回復を祈念申し上げます。
 さて寅年、虎に因んで有名な「魏志倭人伝」に、「其地無牛馬虎豹羊鵲」とあり、日本に存在しなかつた動物です。
 明日香村高松塚の四神の一つの白虎（西）で白色が剥落して刻線が残り、胴が長く牙を出した顔。法隆寺の玉虫厨子、須弥座の左右側面に釈迦の捨身飼虎図が秀。千里行つて千里戻るといふ寅年生まれに幸多し、です。

一白水星の人の運勢

二月筮・火山旅九三
 三月筮・天地否初六
 二月は順調運。爽やかな交際を望む。仕事は先手を取り固める。溢れる愛情で我が家を包む。気疲れと腰部を和らげる。
 三月はあれこれ雑用多く汗が出る。人に尽くして喜ばれる。簡単に見える仕事は根が深い。予定と希望は停滞気味。寒さ負けと消化不良に用心。

二黒土星の人の運勢

二月筮・沢火革九三
 三月筮・風火家人六四
 二月は大事な用件二つを甘く見ない。本業に迷い家庭に辛さあり耐える。後半に見通しついて一息。米飯の炊き方と足腰対処。
 三月は多忙で外出が多い。気力に勝るので仕事も強気と柔軟さがほしい。金銭に関しては雑駁、儲け話は避ける。家庭安泰で喜ぶ。体調は安心。

三碧木星の人の運勢

二月筮・兌為沢九四
 三月筮・巽為風初六
 二月は久しぶりに手腕を現す。仕事は有利に進み、結果を出す。対人間の和が第一、中旬には妥協する。家庭は賑やか母性愛が尊い。脊柱に注意。
 三月は弥生のお雛様。季節の味わいを楽しむ。平穩に過ごすのが幸せ。本業一筋と気楽さが一番。誤解や失敗がないように。

四緑木星の人の運勢

二月筮・地沢臨初九
 三月筮・震為雷上六
 しばらく重荷を抱えていたが二月は安着。社交面の気軽さに文句なし。仕事充実、希望近し。出銭が続くが大目に見る。歯と喉を大事に。
 三月、春に目覚める啓蟄です。公私共に何かと忙しく仕事固守、家庭はほのぼの愛情が濃い。厄介な問題は先に延ばす。

五黄土星の人の運勢

二月筮・山水蒙六五
 三月筮・火山旅六二
 二月が慎重運であるのは物事が渋滞のため。仕事は下旬に満を帰す。家庭では重要な問題に真摯に取り組み、夫婦の絆が強い。歯茎と胸部に注目。三月は自分のペースで進めたい。仕事で摩擦あり黒白つけずパス。読書、思索、趣味を味わう。視力疲れと風邪の追い打ち注意。

六白金星の人の運勢

二月筮・火水未済九四
 三月筮・水風井九二
 二月は山越して安泰。諸事に急がず無理をしない。良識判断で知恵を出す。交際面で散財。小さな悩みが家にあるが中旬好転。もらい風邪に用心。三月は雑用が多いが嫌がらず、仕事は待つ辛さに愚痴。進めるより守りを固め、金運堅実。外出安全に。足腰を鍛える。

七赤金星の人の運勢

二月筮・雷地予六三
 三月筮・水天需九三
 二月は上を見るより足元を見る。予定通りに動いて結果出す。仕事はお互いさまで安心。家庭に心配があるが横ばい。他人の面倒を背負うので重い。
 三月は公私に混じりがあり深入りを避ける。仕事は表より裏に用心。家庭内出費。新規計画は時期尚早。過食と持病用心。

八白土星の人の運勢

二月筮・離為火六五
 三月筮・水天需九二
 二月は八白に暗剣殺や月破が付くので自重運。日常生活は平均点で欲を出さない。家族に愛情と周囲に気遣いあれば無事。旧習慣と謙虚さで乗り切る。
 三月、待てば海路の日和かな。予定と計画は一歩進めて良く、人は和やかに親しむ。小さな願い叶う。体温と循環器注意。
 二月筮・雷水解九四
 三月筮・山雷頤六四
 二月、外は寒くとも内は明るい。仕事は継続、住居の整理、貯蓄安心。懸案の問題に解決の見通し。復調事で喜び。気負け・肝疲れを補う。
 三月は桜花の宴を待つ。順調なので中旬に好事を招く。青年にチャンス、高年に喜び、金銭を上手に用いて吉。転ばぬ先の杖で転ばない。

十一月有宵会報告

八川林加

十一月二十三日(土)

足立区勤労福祉会館(綾瀬プルミエ)第一ホールにて、NPO法人岳易館・有宵会十一月定期例会を開催。今回は、会場の都合により勤労感謝の日(祝日)での開催となりました。

第一部は、佐藤宗眩先生より、検見川神社様境内で運営中の「神易館」の活動報告のご発表。福田有宵先生からは、「令和三年の回顧」として、今年発行した会報『有宵会だより』に記載した内容と、一年間に起きた出来事や事件を回顧してのご講演をいただきました。

第二部では、有宵会所属会員の先生方による一年の回顧として、佐藤宗眩先生、杉本侑穂先生、牧亜津子先生から、実際に鑑定した内容の中で、最も印象に残った、或いは難しいと感じたケースについて、それぞれお話をさせていただきました。

「第一部」 「神易館」活動報告

佐藤宗眩先生

検見川神社様からのご依頼により、令和二年十二月二十九日から神易館の活動をスタートいたしました。コロナ禍でお正月に神社様へ参拝するかも例年の二、三割程度に減少している中、非常に苦戦する日々が続きました。その後、コロナが少し落ち着いてきたところで、ようやく神易館の存在が認知されてきたという状況です。ご来場してくださるお客様は、神社のお参りがてらに超越してくださるかたが大半で、シフトに入られている先生方が各自でも宣伝をしてくださるお陰で徐々にお客様の数を伸ばしてきました。有宵会の皆様の中で、神易館の活動にご協力をお願いできる日や曜日がおありのかたは、ぜひ、お申し出をお願いいたします。

「令和三年の回顧」
福田有宵先生
令和三年一月から奇数月で年六回の研究会を開催し、会報は十一月で一〇八号まで来ることができました。一年間の記録を振り返りながら回顧をさせていただきます。

編集長の佐藤宗眩先生のお祝いを兼ねて松本楼での祝賀会を計画しておりました。しかし、コロナ禍で会場の大人数制限の条件があり、延期を重ねながら時期を検討しました。改めて別の機会でのお祝いが出来ればと考えております。さて、昨年発行された会報『有宵会だより』を振り返りながら回顧して参ります。

一月は、神易館が本格的にスタートしました。有宵会の例会では、菅原有恒先生から、年筈を三年単位で判断するという研究成果のご発表をいただきました。年筈をその年一回の判断で終わらせてしまうのではなく、卦に親子関係や兄弟姉妹のような関係性を見いだせるだろうか、という点に着目されたものです。運は常に切れ目なく繋がっております。しかし、運の切れ目があると感じた場合はどのような時であるのか等、このような捉えかたが出来れば、卦の読みが非常に生きてきます。

三月会報から
検見川神社様 神職の水谷智堅先生から「禊とお祓い、人間の一生について」のご講演をいただきました。その際の資料も大変勉強になる内容でした。

五月会報から
五月では、「神易館」の第一回目の活動報告として、佐藤宗眩先生、杉本侑穂先生、岩崎杏泉先生、佐々木敦子先生、秀和仙宵先生から、鑑定所の様子や鑑定の内容についてのご報告をいただきました。その他、大川法祥先生から「西宮門戸厄神」



経験が出来たと思っております。

＊九月会報から

株式会社ライティング
タツチ 代表取締役社長
田中奨様にご講演をいただきました。コロナ禍で会社経営がより厳しさを増す状況を抱えながらも四千四百日以上、休みなく神社に参拝を続けておられるというお話は、会場の皆様にも印象に残っていると思います。

■令和二年の年回り

令和三年は、九星でいうと六白の年回りです。十干十二支は天地を表し、九星は、人であり社会の姿を表します。国会は六白、行政は九紫で見えます。中宮は、三通りの見方があります。

- ・ 八方塞がり
- ・ 前者とは反対に、八方位に出るといふ見方
- ・ 八方に広がる道の道を選択するか

令和三年は、定位の乾宮に七赤暗剣殺が付いています。本来の六白を十割とすれば、七赤は八、

七割とみて最善を尽くす状況が見て取れます。つまり国の策は万全とはいえないがたい状態であったと言えます。

＊各業種別の振り返り

令和三年一月三十日の有宵会例会では、福田有宵先生による、世相大予想のご講演がありました。コロナ禍二年目に突入し、オリンピックの開催可否の議論は大いに盛り上がりました。福田有宵先生は、令和二年七月にオリンピックの延期が決定となった時点で令和三年の開催可否を立筈されておられました。会報の記録と照らしながら実際に起こった出来事を元に振り返ります。

離宮一白同会

水産業

定位盤上の一白は、九紫同会。二つの星の要素が互いに影響し合います。例えば、海底火山の爆発により軽石被害の影響は、一白と九紫の相剋関係により、深刻な問題になると捉えてきました。

石油の問題

石油高騰の問題も離宮に一白が同会した影響といえます。離宮、乾宮に同会となった場合は、価格上昇となります。

良宮九紫同会

山火事の問題

八白は原野、山の象意ですが、定位盤の八白に九紫が同会した影響があります。

建設・不動産

不動産業は、八白の象意です。被同会・七赤は暗剣殺付きです。新規の特許や高度な技術の取得は、中宮の作用により見送られます。七赤暗剣殺が被同会にあるため、設備投資の資金繰りが厳しくなることがその理由です。

電車内の事件勃発

今年（令和三年）は電車内での傷害事件が複数起こりました。若者が将来を悲観した末に及んだ凶行でした。乗り物には、六白、四録の象意とありますが、やはり中宮にしている星の象意が表立ちます。中宮のトラブルは変異型になります。六白は、公の乗り物ですので、電

ン購入が盛んであり、不動産バブルを想起させます。では、不動産業の方はどうでしょうか。兌宮同会により見通しが甘いところに戻座となります。予想よりも価格が下落する、また条件面で訳アリが生じることとなります。中宮および被同会暗剣精密機械関連

車や自動車です。トラブルの判断では、歳破や暗剣殺をチェックしますが、刃物沙汰、殺傷事件は中宮に紐づく暗剣殺にウエイトをおいて判断します。今年の歳破は、坤宮三碧に付いています。家庭の問題や生活困窮の状況下が出てきます。家庭での子どもの虐待問題も歳破に含まれます。

食品、飲食産業

兌宮八白、坎宮二黒をポイントに見ていきます。大きな視野で見た場合は、地球上で起こる問題は何か、を考えてみます。兌宮八白と坎宮二黒から、食料と水の問題を検討しなければなりません。今後三十年から五十年の間でこの問題が大きく変わっていきます。地球には水が潤沢にある状態ではないからです。水は何れかの方法で再生していかなくてはなりません。恐らく、アメリカの為政者らは、すでにこのような視野で検討を始めている筈でしょう。

身近な視点では、兌宮八白の象意から、家庭料

理を楽しむところとし、食事は肉食（八白）系を好む傾向と判断できます。アルコールや飲料系統は一白の象意となりますが、離宮に同会したことで、高級志向の新しい飲料系の開発を進めていたとみることが出来ます。

薬品関連

ようやくコロナ対応薬の開発目途が立ったようですね。良宮に九紫が同会する場合は、薬の研究や開発が熱心に取り組まれている様子がわかります。来年（令和四年）に九紫が離宮に回座するところから、製薬会社一社だけではなく、追随するところが出てくると見えます。



第一部
会員による振り返り

*ご発表順に記載

●本命星・巽宮同年会
でのご相談

杉本侑穂先生

鑑定会によく来て下さるお客様から、メールでご相談をいただきました。内容には、経済的には恵まれていないにもかかわらず、頼る身寄りがないことを悲観し、お別れを告げるかのような文面が記載されています。急いで警察にも連絡し、幸いにも無事を確認できました。その後は、再び対面鑑定会にも来て下さるようになり安心しておりますが、様々な鑑定をしている中で、今年一番驚いた事例でした。

ー福田有宵先生からのコメントー
鑑定者の皆様ご自身の



令和元年の年筮…
火沢睽↓天水訟
令和二年の年筮…

本命星がどの宮に回座する年であるかによって、相談される内容も変わってきます。例えば、巽宮に回座した場合は、様々な問題を抱えることになり

ます。では、坎宮にいる鑑定者には、どのような相談があるでしょうか。我々は、そのことを前提として、受け入れる体制の準備が出来ているかが非常に重要なポイントになります。あくまで、ご相談者のかたに寄り添い、真実に納得してもらえ、答えをご提案出来ているかをこれからも考えていきます。

●年筮 三年のススめ

菅原有恒先生

昨年（令和二年）の年筮の得卦はやがて之卦となり、今年（令和三年）の年筮とかわる。調べ

ていきましたと、三年間の中で年筮間の繋がりが見えてくるようになり、運が三年単位で変わる様子がわかります。例えば私の三年間の年筮を次に示しますと、

山地剥↓坤為地
令和三年の年筮…
天風姤↓雷天大壮
つまり、訟←剥／坤←姤へと変化して

きました。前年年筮の之卦が次の年の本卦になる、或いは次の年の本卦に影響するという考えです。

では今年（令和三年）

はどうだったかについては、変化の大きい年でした。年運を見る際は、月筮の推移についても参考としていますが、体調不良となる状況が何度かありました。変化があった時期は、年筮の初爻、五爻、上爻の時期です。月筮とのかかわりも参考にすると卦の読み筋がわかりやすくなります。

・年筮推移での課題

ただ、年筮の推移をみていきましたと課題も見えてきます。得卦と之卦の繋がりで差異があった場合はどう読んでいくか、という点です。年筮の本卦、之卦とのつながりで課題が見えているため、更に五年、十年間の単位での年筮推移の方法も検証しています。



●本命・月命星対冲
年でのご相談

佐藤宗眩先生

今年は、私自身の本命星と月命星が対冲する年にあたります。この時は、注意が必要な年であることは勉強会でもよくお伝えしていることです。令和三年は十月に年盤と月盤が重なるタイミングでしたので、体調管理を始め、特に注意をしながら過ごしております。

ところが十月のある深夜、次のような鑑定依頼が飛び込んできました。

「息子の消息がわからなくなりました」
相談者…母親
本命 一白水星
子ども（次男・二十五歳）
本命…四録木星
得卦

風天小畜 九五
息子さんはとても生真面目な方で、これまで無断で家を空けるといったことは一切ないのと

と。立筮した結果から、これは正直まずい状況であり、早急に対応が必要であると判断、胸騒ぎもありました。しかし、真夜

中で身動きがとれない状況でのご相談でしたので、まずは息子さんの足取りと、訪れる可能性のあるところと併せて、東南、北東方位も探すとともに、息子さんのご友人、知人にも協力をしてもらおうようお願いをしました。

翌朝、再びそのご相談者から電話がありました。警察から息子さんの訃報が入ったというのです。

後日、更にご事情をお聞きすることができました。亡くなられた息子さんは、「受け子」のアルバイトをしてしまい、当時、警察から事情聴取を受けていたというのです。社会的な制裁を受けることに耐え切れず、自裁の道を選んできました。はいかと、お母様のお嘆きは深く、占者としてのアドバイスが適切であったかを考えてしまう出来事でした。

ー福田有宵先生からのコメントー
ひとつの問題があった時、原因、成り行き（プロセス）、結果の三点の内、何を調べるのが重要ですか。相談者が何を求めているのかを読み取ら

なくてはならない状況でのご相談でしたので、まずは息子さんの足取りと、訪れる可能性のあるところと併せて、東南、北東方位も探すとともに、息子さんのご友人、知人にも協力をしてもらおうようお願いをしました。



なければなりません。原因を知りたいという人に対して、結果の答えを出しても納得が得られませんが、相談者を知ることにも必要となります。

ポイント
・今回は、六白中宮の年月が重なるタイミングでのご相談であること。物事の整理整頓をする時にあたっています。中宮はそこで終わりになる場所であり、終末です。反対に、再生するところでもあります。命にかかわるところは、中宮、良宮、坎宮になります。佐藤先生は、今年、本命と月命星が異宮と乾宮で対沖する状況ですので、異宮、中宮、乾宮を通した問題が浮上します。
本来、本命五黄と月命

七赤である場合は、土生金の相生から本命星主導型タイプとの見方になりますが、本命と月命星が対沖する年に関しては、六白中宮の要素を介して七赤暗剣殺の条件が付きますので、非常に厳しい問題にあたる時であるといえます。また、自分を見つめ直す年でもありません。しかし、考えを出そうとしてもなかなか出て来ない時ですから、心の中が相剋の状態になります。これは、どの星の組み合わせにも同じことが言えます。

命の問題に関するご相談があった場合は、とにかく話を聞くことに徹する姿勢がよいでしょう。占術を用いたアドバイスも可能ではありますが、このような結果となる相談の場合は、占いの方法ではなく、相手をわかってあげる、一緒に悩む。そのような姿勢を示しながらご相談と真剣に向き合う姿勢が大切です。

定について、ご発表をいただきました。実践鑑定では、コミュニケーションの難しさをどのように克服するか、会場の皆様と検討しながらのお話でした。身近な問題として考える機会にもなりました。占術を用いた社会貢献の代表例としてご報告させていただきます。

文責 八川林加

新年にあたって

有峰会会長 牧野有峰



皆さまにおかれましては、穏やかな令和四年の新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。旧年中に賜りましたご厚誼に厚く御礼を申し上げます。
昨年は天変地異が多く、地震、火災、水害などの

災難があり、一昨年から新型コロナウイルス禍の脅威で恐怖は続き、社会は機能の停滞があり、個人は平和な日常生活の崩壊です。私の場合、病気の治療中でしたが、コロナの蔓延で外出を控えることを余儀なくされ、困惑していました。コロナ終息の願いはかなわず今日に至っています。最近ではオミクロン株の勢力に翻弄されている現状では見通しがわかりません。

2022年(令和4年)壬寅五黄その期待と予測
乾象
千支で云う壬寅の五黄年、十千の壬はニンベンを付けると任となり人それぞれに役割を担う、担当する。責任を持つこと。女偏を付けると妊(はらむ)の意義。寅は蟻(ミミズ)に通じて、草木の生ずる春、厳しい冬をやっ超えて新しい生命を感じる年です。

●政治外交
政治権力を示す六白乾宮にあり、その実力を發揮出来る時です。国民が不安定・不満を抱えている事を冷静に分析して泥臭く実質的な成果を挙げること。最低賃金を上げる事で消費を伸ばし何よりも落ち込んだ経済立て直しを図る年。しかし、四緑異宮で外交は乾宮の対沖にあり国益の違いか対外的な問題が次々と起こりリーダーの舵取りが厳しい事になる。



●経済
二黒が坤宮に入り歳破を受ける。庶民一般大衆を現す二黒、その生活は厳しいものとなる。平均的な給与水準は伸び悩み

益々生活困窮世帯が増加傾向。経済を支える消費生活も急激には伸びない。七赤が兌宮回座で七赤金星本来の象意金融政策の取り組みを期待したい所

ですが、じわじわと物価が上昇してきて最低賃金が上昇しても可処分所得の増加にはつながらないでしょう。三碧震宮は遅れを取っている科学技術投資を積極的に行う事で冷え切った国内経済を再浮上させるキツカケを作る事になる。脱炭素社会の為の具体的な対策が、デジタル・電子化・電力・自動車産業全般に求められる。

● 社会生活

五黄中宮で坤良のラインに二・五・八が入る年は変化を示す。コロナ禍がもたらした様々な生活様式の変化が既に生活の一部になつていて、今年も我慢を強いられて地道に生きることが求められる。三碧震宮で利便性を拡大したデジタルやリモート技術も反面では人と人との接触が減り、リモートに参加出来る人々が居

る反面、参加出来ない疎外された人々が増加していく二面性がハッキリとしてくる。

● 流行・ファッション

九紫離宮回座 富裕層は伝統や格式を重んじる日本的な物へのこだわりをもつ、上流意識を満足させる高級ファッションが流行る。一方経済的に厳しくなつていて若者を中心に余り外見を気にしないがしかし個性を求め夫々のスタイルを楽しむ傾向が見られる二極分離傾向になる。

● 事件・事故

五黄中宮年には過去の行動の総決算が出ると思われて来ましたが本当にそうだろうか過去の歴史を訪ねました。

1941年五黄、真珠湾攻撃を開始して太平洋戦争に突入した日本、そこに至る経過を我々は知

っているだろうか。アメリカがキューバを封鎖したのは60年前の壬寅二黒だった、五黄ではないが中宮年には過去数年の結果が出る年と考える時、当時

は米国とソ連の冷戦状態であったが今は隣国の中国が台風の眼となつていて事を冷静にその行動の監視をしたい。

また五黄年には驚くような事件が予想されます。

1968年の三億円強奪事件、1995年地下鉄サリン事件、2013年児童虐待7万件超。

● 自然現象

五黄中宮、昨年からの地震に注意を払い、歴史的に起こった関東大震災(1923、五黄)そして、阪神淡路大震災(1995、五黄)、を記憶に留めたい。加えて坎宮

に一白がある年には台風や水害が予想されるので(1959伊勢湾台風など)、全般に変化が激しく吉凶が現れるので適切な対応が必要でしょう。(最終ページの資料をご参照ください)



【NPO通信】

◎ 賛助金ご報告

次のかたがたより、有宵会活動賛助のご寄付を賜りました。

皆様からのご厚情に心から御礼申し上げます。

*令和三年十一月二十三日現在

(敬称略・順不同)

菅原有恒 天川鼓悠 大澤揺扇 岩崎紀子

泰山林翰 金原玄周 河野有泉 阿部治

*本掲載は前後する場合がございます。ご了承ください。

◆ 行事・活動報告

・岩槻大師彌勒密寺奉仕鑑定会開催

令和四年一月一日(土) ~ 一月三日(月)

出演者 (敬称略・順不同)

佐藤宗眩 武田ミコ

杉本侑穂 川又早苗

前田龍徳 岩崎杏泉

毎年多くの皆様からご好評をいただいている岩槻大師様の新年奉仕鑑定会ですが、今回も多くの

お客様にお越しいただきました。

◆ 次回・行事予定

■【自由参加】

検見川神社初参り

◎令和四年二月十六日(水) 午後一時

現地集合(社務所付近) / 現地解散

・御祈禱料…一名につき、三千元以上から

・申込方法…

神社様のご祈禱申込書に必要事項をご記入の上、ご祈禱料と併せて有宵会事務局担当者にお申込みください。

・【お願い】お教室代表者のかたへ

初参りご希望者をお教室ごとにお取りまとめ、集金いただける場合は、ぜひご協力をお願いいたします。

*当日現地でお申し込みをされる方は、集合時間よりも少し早めにお越しください。

*昼食は、各自お済ませいただいた上でご参加ください。

事務局側でのご用意はありません。

■《募集中》「神易館」鑑定士

有宵会が運営をしており

ます「神易館」(検見川神社様境内)では、鑑定にご協力をしてくださるかたを随時募集しております。ご協力をいただきますかたは、佐藤宗眩先生、福田有宵先生までご連絡ください。

■【中止】足立区勤労福祉会館「展覧会」

内、奉仕鑑定会

◎令和四年二月十九日(土)

・場所…足立区勤労福祉会館(綾瀬ブルミエ)

先般、募集掲載をしておりました、足立区勤労福祉会館様での鑑定会は、コロナの感染が再拡大している状況を鑑み、大変残念ですが、中止することといたしました。

お申込みいただいた先生方には、深くお詫び申し上げます。次の機会では、ぜひご協力をいただきますと幸いです。

◆【重要】

令和四年五月度から、有宵会の開催場所が変更になります！

足立区勤労福祉会館の大規模改修に伴い、五月度の有宵会例会から、開催場所が変更になります。※令和四年五月～一年間程度

今後は、予約状況の関係で、会場が都度変更になる可能性があります。そのため、会報誌（有宵会だより）および、ホームページでの情報は、これまで以上にチェックをお願いいたします。詳細は、福田有宵先生、事務局 八川林加までお問合せください。

■【事務局だより】次回例会のご案内

◎日時／令和四年三月二十六日（土）午後一時十五分～五時
◎場所／足立区勤労福祉会館 プルミエ 第一ホール

◎検見川神社 水谷智賢先生より「禊行法」

◎指導続き（予定）

＊実際に皆様にも体を動かしながら禊法の練習を体験していただきます。動きやすい服装でご参加ください。

◎その他ご講演

福田有宵先生、佐藤宗眩先生、所属会員のかたによるご講演を予定しています。

＊今後も、コロナ感染拡大防止の観点より、例会およびイベント内容は、直前に変更・中止となる場合がございます。各種情報は、有宵会ホームページ等もご確認ください。

■【再掲】《募集中》

占例、体験談等募集のご案内

有宵会では、占例はもちろんのこと、ご自身の様々な体験談をジャンル問わず募集しております。原稿執筆という形での活動参加も大歓迎です。お家時間を有効活用し、ふるってご応募ください。ご希望者は、福田有宵先生、佐藤宗眩先生、牧亜津子先生、八川林加まで。

■令和三年十一月度例会参加者

十一月度の例会は、五十名のかたがご参加されました。（懇親会は中止）

【編集後記】

約二年ぶりでしょうか。令和三年最終の有宵会は、久方ぶりにお顔を拝見した方々とお会いし、いつもの例会が一段と楽しいひと時になりました。コロナは未だ油断ができません。状況であり、外出は慎重を要する季節ではありますが、一陽来復のように、再び多くの皆様と楽しく歓談できる日が訪れることを心待ちにしております。

そして、令和四年こそは、念願の懇親会再会が出来ればと考えております。引き続き、よろしくお願ひ申し上げます。

事務局長 八川林加



<資料>

過去壬寅の年の抜粋を観る。

- 1782年（天命2） 天明の大飢饉はじまる
- 1842年（天保12） 天保暦の採用、農民の一揆多発
- 1902年（明治35） 日英同盟の成立、東北・関東に暴風雨凶作をもたらす
- 1962年（昭和37） 農業人口全労働人口の3割となる、キューバ危機による緊張

五黄中宮年の出来事の抜粋

- 1896年（明治29） 明治三陸地震・大津波
- 1923年（大正12） 関東大震災
- 1941年（昭和16） 太平洋戦争始まる（大東亜戦争と呼んだ）
- 1959年（昭和34） 伊勢湾台風
- 1977年（昭和52） 戦後最大の不況、111万人の失業者
- 1986年（昭和61） チェルノブイリ原発大事故、ハレー彗星接近
- 1995年（平成7） 阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件
- 2004年（平成16） スマトラ島沖大地震・インド洋沿岸に大津波
- 2013年（平成25） 児童虐待7万件を超える